

授業科目	*疾病診断治療学 I					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	高崎 智子										
授業概要	<p>実務家教員として、長年病院に勤務した医師としての臨床経験を活かし、授業を行う。</p> <p>本授業では、様々な病気についての基礎知識および医学的な考え方についての理解を深める。消化器・肝臓・胆のう・膵臓・心臓・腎臓、呼吸器などの代表的疾患について、その成因・症状・診断・治療（食事療法を含む）を学ぶ。食物や栄養との関連を理解し、医療チームの一員としての栄養士・管理栄養士に必要とされる基礎的な医学知識および考え方の修得を目標とする。</p>										
授業形態	講義				授業方 法						
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主要な疾患の疫学的特徴を理解し、関心を深める。(DP1-2、DP2-1)</li> <li>2. 主要な疾患の病因・病態についての基礎を理解し、説明できる。(DP1-2、DP2-1)</li> <li>3. 主要な疾患の身体所見・検査所見・治療法を説明できる。(DP1-2、DP2-1)</li> </ol>										
理想的 レベル	<p>標準的レベル1~3をすべて達成した上で、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 他の保健・医療従事者と連携・協働し、栄養学的側面から予防方法や治療方法を説明できる。(DP3-1、DP4-2)</li> </ol>										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験		80%									
小テスト		10%									
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他		10%				授業に主体的に参加する、疑問点を質問する、などの授業態度					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリン グ	NT21207J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
復習：配布したプリントおよび小テストの内容を整理し、理解する。										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：病気とはなにか？ 臨床診断の基礎</p> <p>臨床診断の基礎知識について解説する。</p>										
第2回	<p>テーマ：臨床検査</p> <p>臨床検査の種類・適用について解説する。</p>										
第3回	<p>テーマ：疾患の治療</p> <p>治療（栄養療法を含む）の種類・方法・適応等について解説する。</p>										
第4回	<p>テーマ：消化器疾患1（上部消化器疾患）</p>										

	食道がん、胃食道逆流症、胃潰瘍、胃がん等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 5 回	テーマ：消化器疾患 2（下部消化器疾患） 感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸がん等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 6 回	テーマ：消化器の外科的疾患 外科的治療を必要とする消化器疾患や、外科手術後の合併症について解説する。
第 7 回	テーマ：肝臓疾患 1 肝障害、ウイルス性肝炎等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 8 回	テーマ：肝臓疾患 2 脂肪肝、肝硬変、肝がん等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 9 回	テーマ：胆のう疾患、膵臓疾患 胆石症、胆のう炎、急性膵炎・慢性膵炎等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 10 回	テーマ：循環器疾患 1 動脈硬化症、高血圧の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 11 回	テーマ：循環器疾患 2 虚血性心臓病、心不全の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 12 回	テーマ：腎疾患 1 腎障害、急性糸球体腎炎等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 13 回	テーマ：腎疾患 2 ネフローゼ症候群、慢性腎臓病（CKD）、腎不全等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 14 回	テーマ：呼吸器疾患 呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、肺がん等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 15 回	テーマ：体液異常 電解質異常、酸塩基平衡異常等の病因・病態について解説する。
テキスト	「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第 3 版」 田中明、藤岡由夫 編（羊土社） 「糖尿病治療ガイド」 日本糖尿病学会 編・著（文光堂） 毎回、スライド内容をプリントして配付する。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	参考図書： 「臨床医学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」 羽生大記、河手久弥 編（南江堂） 「なるほどなっとく！病理学 plus」 小林正伸 著（南山堂）
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業終了時に実施する小テストは、採点の上、次回の授業時に返却し、解答例を提示して解説する。

疾病診断治療学 I は、これまで学んできた解剖生理学、生化学、病理学を基に、栄養士・管理栄養士として必要な臨床医学の知識を学ぶものである。したがって、これらの科目を理解しておくことが必要である。

以下の姿勢を持って、自ら学びを深めていただきたい。

1. 授業で配布されたプリント資料に、大事な内容をメモし、ノートとして利用する。
2. 教科書やプリント資料からサブノートを作る。
3. 疑問点を図書館やインターネットで調べる。
4. 関連する国家試験問題を解いて知識を定着させる。

